

株式会社 西京銀行

2023年3月期 決算報告



2023年3月期 業績ハイライト（単体）

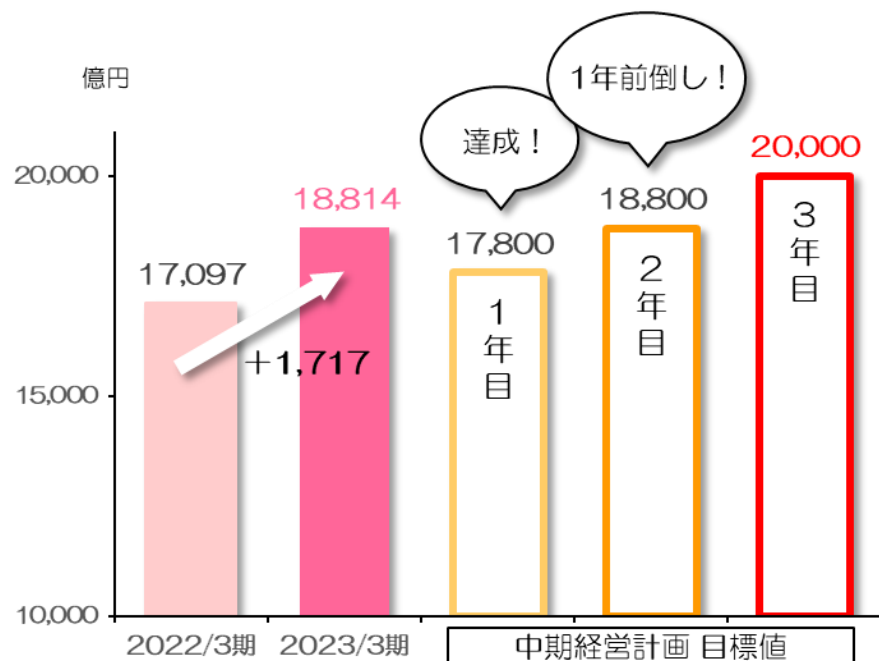
- 預金残高対前期比 **1,717億円増加** 貸出金残高対前期比 **1,231億円増加**
 - 預金残高、貸出金残高ともに **過去最高を更新**

- 当期純利益は対前期比 **3億円増加** **3期連続過去最高益を更新**

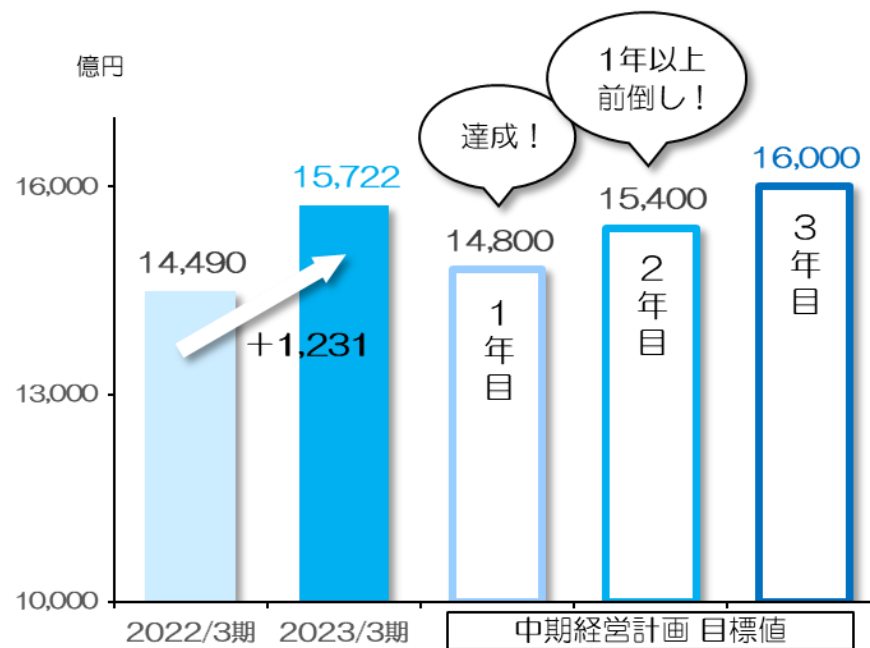
預金・貸出金残高推移 ～ 中期経営計画を1年前倒し！

- 預金残高は、新頭取就任を記念した「年金定期預金」「退職金定期預金」金利上乘せキャンペーンが大変ご好評いただき、対前年同期比 1,717億円増加。過去最高を更新。
- 貸出金残高は、引き続き、地元事業者さま向けの貸出や、個人のお客さまからの住宅取得ニーズに積極的に対応した結果、対前年同期比 1,231億円増加。過去最高を更新。
- 預貸金ともに、中期経営計画の目標を大きく上回り、2年目の目標を1年前倒して達成。

預金残高推移



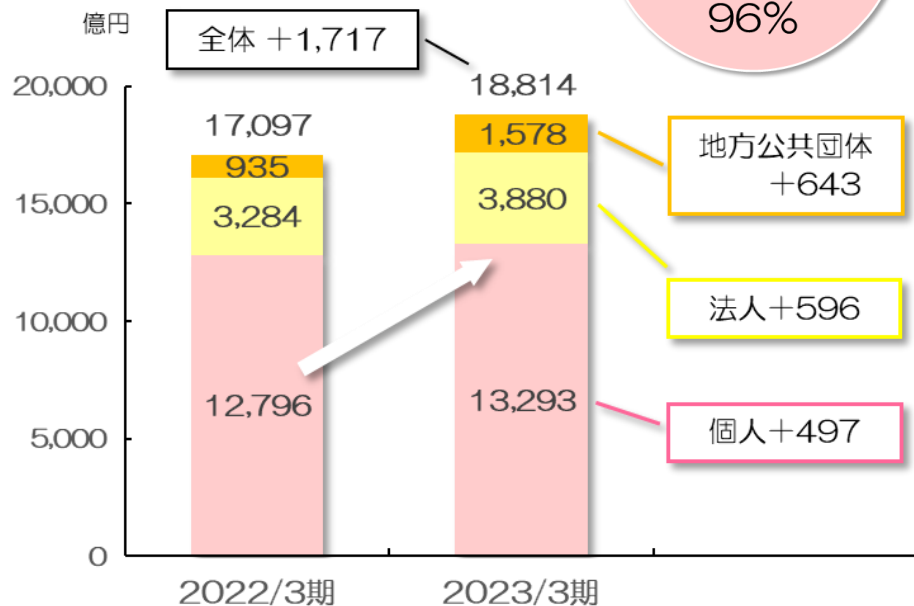
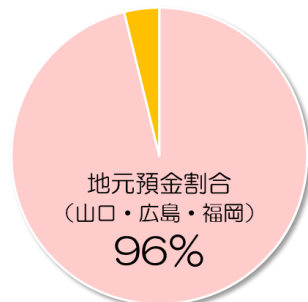
貸出金残高推移



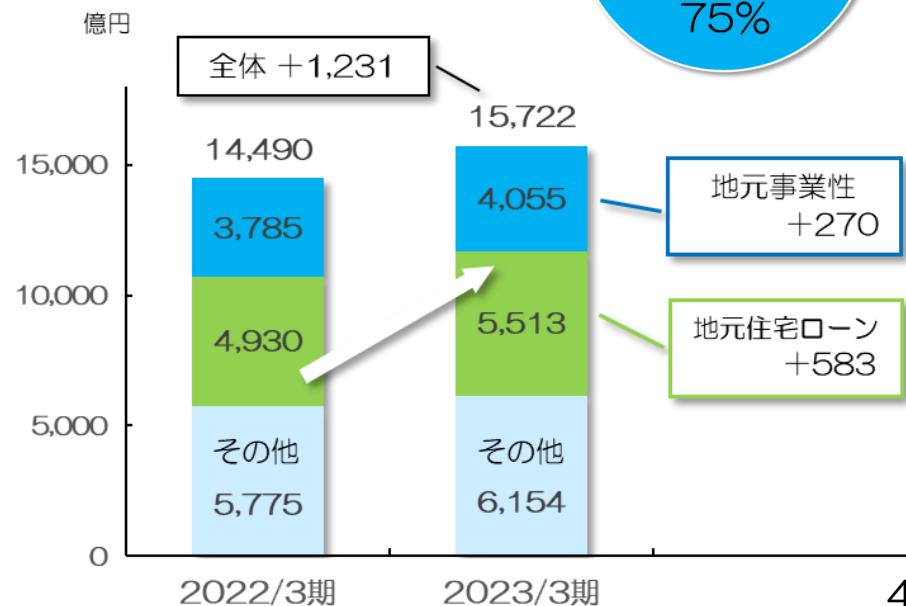
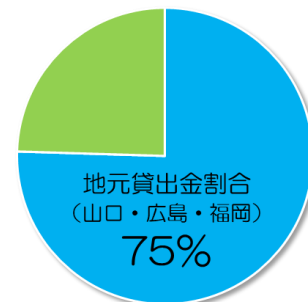
(参考) 地域に根差した活動 ～ 資金の地域内循環

- 地元（山口県・広島県・福岡県）のお客さまからお預かりしたご預金を、資金を必要とされる地元の事業者さまや個人のお客さまにお使いいただく『資金の地域内循環』を推進。
- 預金は、個人・法人のお客さま、地方公共団体さま等、地元のあらゆるお客さまからご支持いただき、それぞれ残高が大きく増加。
- 貸出金は、全体の増加額の7割（1,231億円のうち853億円）が地元のお客さまからの二一ズにお応えしたものであり、中期経営計画に基づく『資金の地域内循環』を実践。

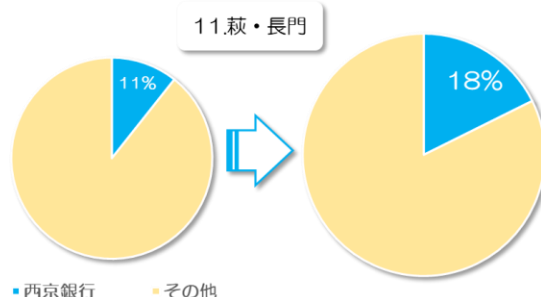
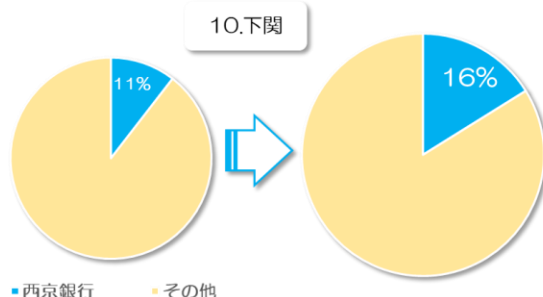
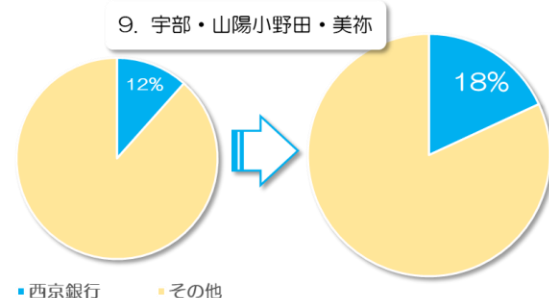
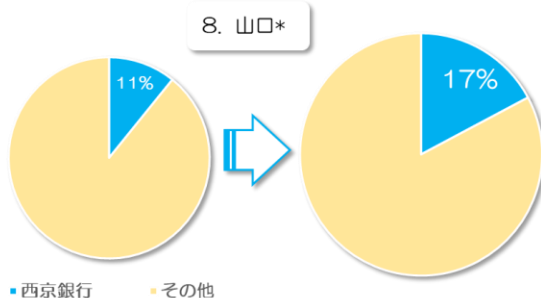
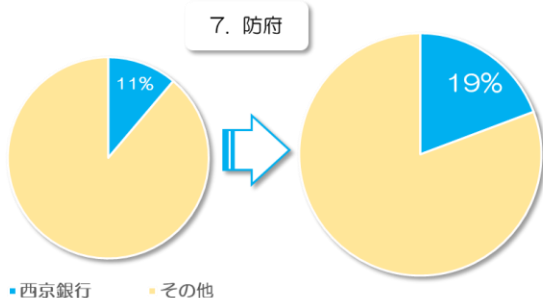
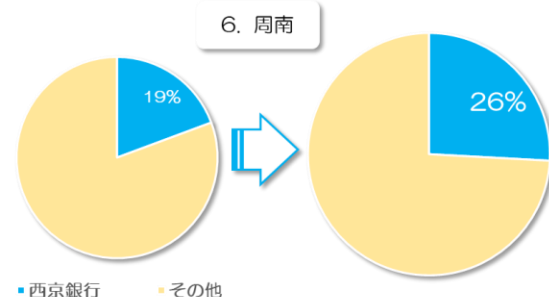
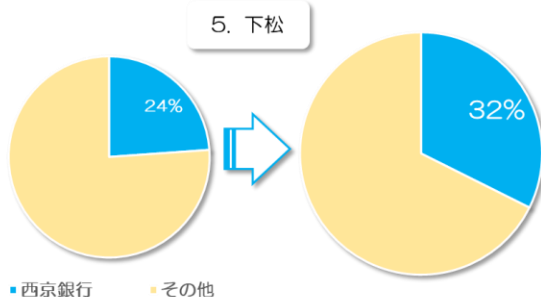
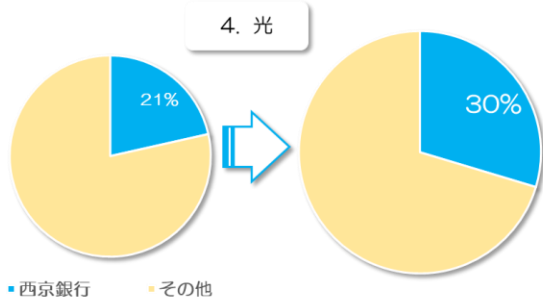
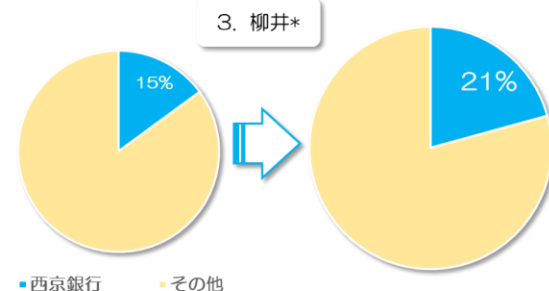
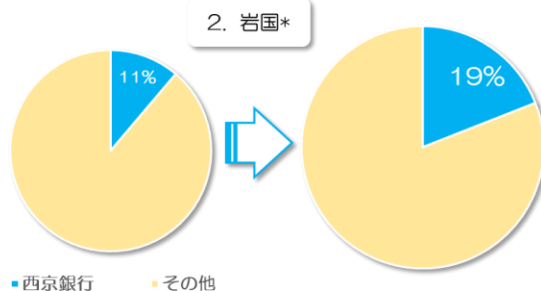
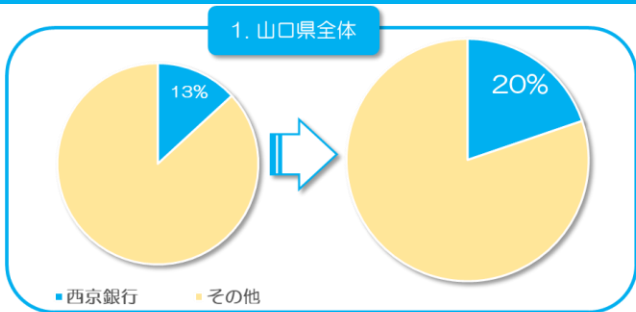
預金増加額の内訳



貸出金増加額の内訳



(参考) 地域別 預金シェアの推移 (2013年3月期 → 2023年3月期)



※ 出典：手形交換所データ
 ※ 県東部から順に表示
 ※ 2：岩国エリアには和木エリアを含む
 ※ 3：柳井エリアには周防大島・田布施平生エリアを含む
 ※ 8：山口エリアには小郡エリアを含む

- 市場金利の低位安定が長期化するなか、地元向けの積極的な貸出推進や、インカム重視の有価証券運用等により、2期連続の増収。
- 増収効果に加え、中期経営計画に基づく営業店業務の集中化・効率化による業務改革の継続により、経常利益、当期純利益ともに3期連続で過去最高益を更新。

(単位:百万円)

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	前年比
経常収益	26,148	26,804	31,060	4,256
経常利益	6,295	7,427	過去最高益 7,999	571
当期純利益	4,371	5,112	過去最高益 5,467	354

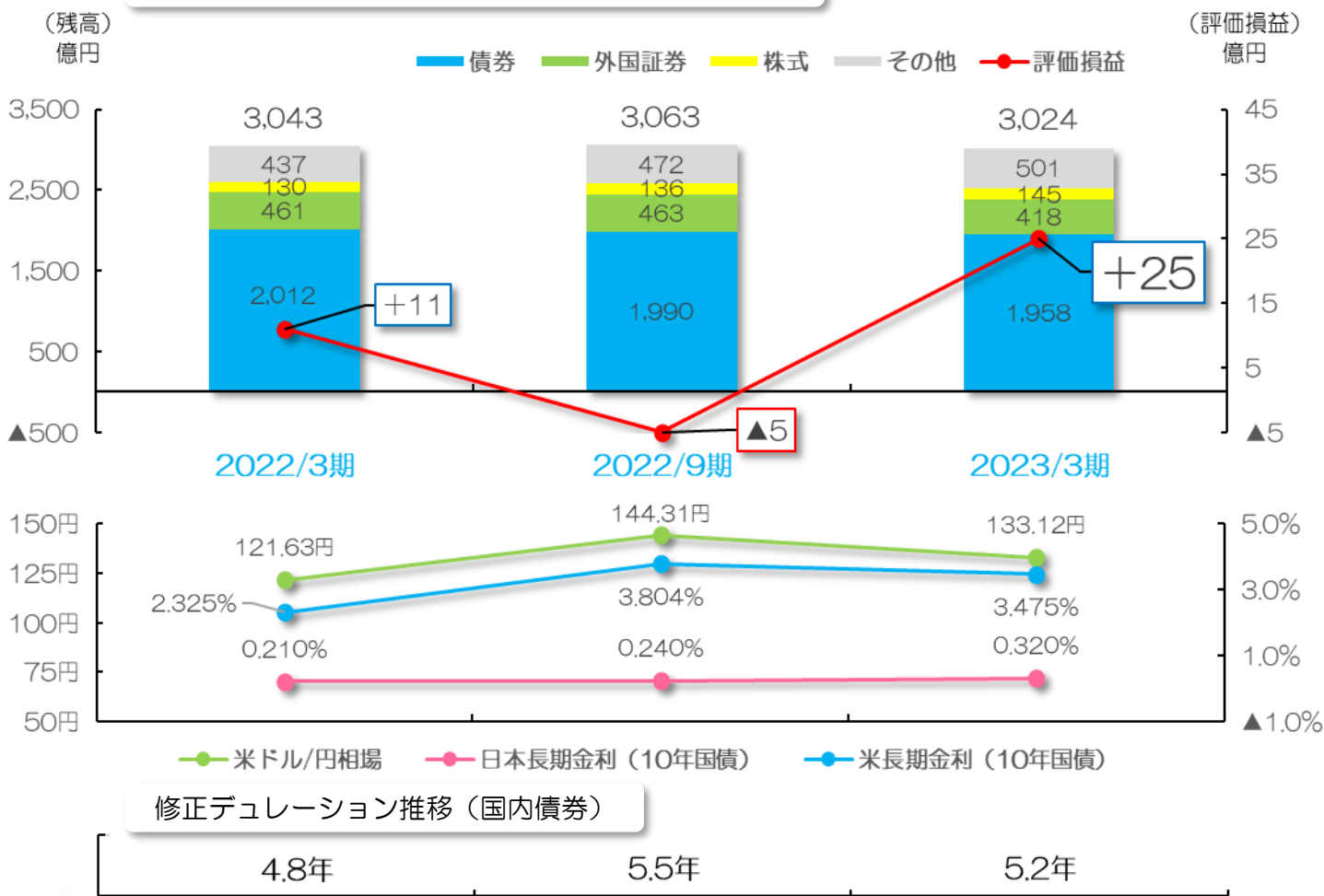
増収増益 (2期連続)

有価証券運用の状況



- 米国金利の急上昇や国内の金利政策見直し等により、期中、債券を中心に評価損が拡大。
- さらなる評価損拡大阻止のため、米国債283億円売却（売却損▲15億円）等果敢な対応の結果、期末の有価証券全体の評価損益はプラス25億円に回復。

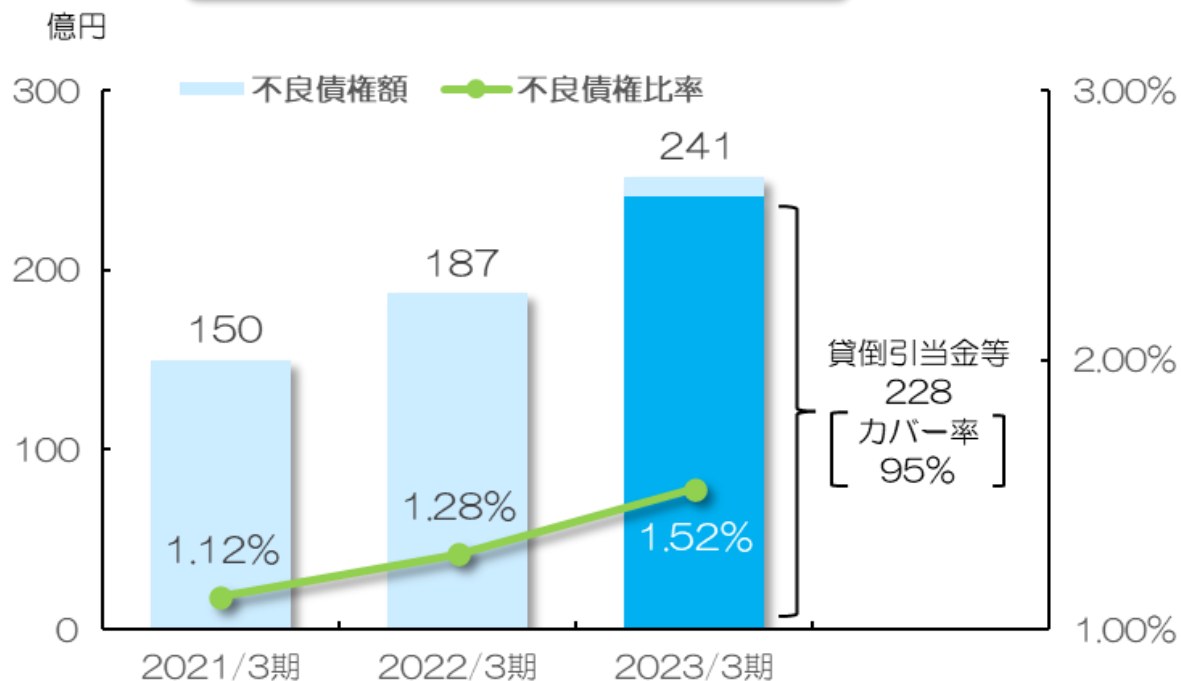
2023年度中の有価証券残高と評価損益の推移



不良債権の状況（金融再生法開示債権）

- 県内の景気は、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進むもとで持ち直している一方、海外経済や資源・原材料価格の動向等、依然として先行きに注視が必要な情勢。
- こうした環境下、当行では、元金据置期間延長による資金繰りのバックアップ等、地元事業者向けの積極的な貸出姿勢を継続。
- コロナ融資利用先への定期的な全戸訪問や小口分散を意識した融資運営により、不良債権比率は引き続き低水準を維持。
- 予防的な貸倒引当て等による十分な保全を講じることで、地域金融機関として今後も積極的なバックアップを継続する。

不良債権額・不良債権比率の推移



地域課題の解決に向けた取り組み

1. 年金定期預金

💡 50歳から始める
将来への備え

50歳から始められる!
年金定期預金
お預入れ金額に上限なし!
期間1年 **年0.2%** (税引前)
取扱期間: 2023年4月3日(月)～9月29日(金)

- 50歳からの特別な定期預金です
- お預入れ金額に上限なし(10万円以上)
- 西京銀行で年金受取、年金受取のご子約の方にオススメです!

2. 退職金定期預金

💡 大切な退職金を
安心の運用手段で

退職金定期預金
(取扱期間) 2022年10月3日(月)～2023年6月30日(金)
年3.0% (税引前)
《特別金利》
3ヶ月もの定期預金

※お利息には、国税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%の税金がかかります。

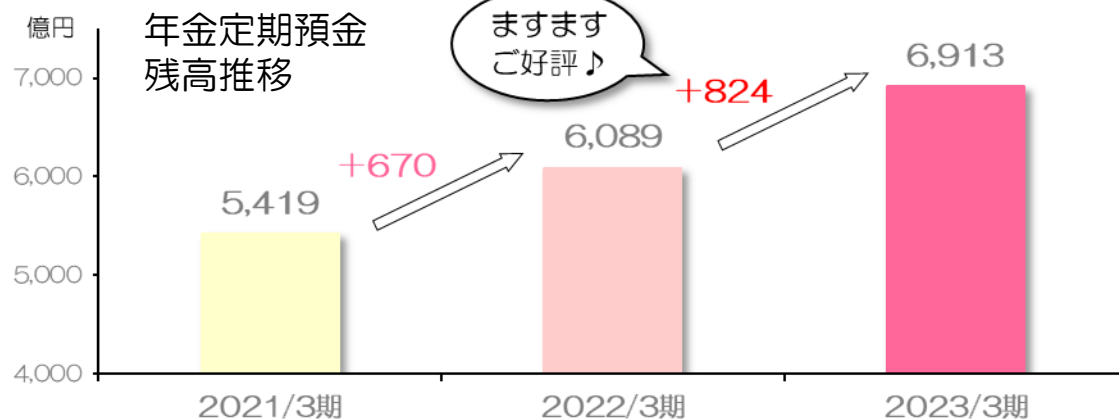
3. ACT SAIKYO 応援定期預金

💡 年齢制限なし!
法人のお客さまも!

新発売

+

山口県を
バドミントン
王国に!!
ACT SAIKYO
応援定期預金
取扱期間 2023年4月3日(月)～9月29日(金)
期間1年6ヶ月 **年0.1%** (税引前)



圧倒的な高金利で
地域のすべての皆さまに
収益を還元!

NEW

起業

アントレプレナー養成 共同研究講座



起業を目指す学生の育成、伴走支援

- 地域課題解決のための取り組みを本格化
- 5年間の活動費
総額70百万円を寄付

DX

西京銀行地域DX 共同研究講座



3回のセミナーに150名が参加

人材

インターンシップ サポート事業



学生11名が地元企業に就職・内定



周南公立大学
SHUNAN UNIVERSITY

地域の課題解決 ~ SDGs、気候変動対応に関する取組み

さいきょうSDGsコンサルサポート

株式会社〇〇 SDGs宣言

2023年4月1日
株式会社〇〇
代表取締役 〇〇

当社のSDGsへの貢献

高品質な製品・サービスの提供

【主な取り組み】

- 安全衛生マネジメントの徹底
- 高い品質を誇る経験豊富な人材の育成
- ISO9001の取得

環境への配慮

【主な取り組み】

- ROH/ROH1の取得
- 業務の電子化によるペーパーレス化の推進
- LED照明やEV車、太陽光発電システムの導入

働きやすい職場づくり

【主な取り組み】

- ワークライフバランスの推進
- 各種研修制度
- 資格取得支援制度
- 福利厚生制度の充実

社会貢献・地域貢献

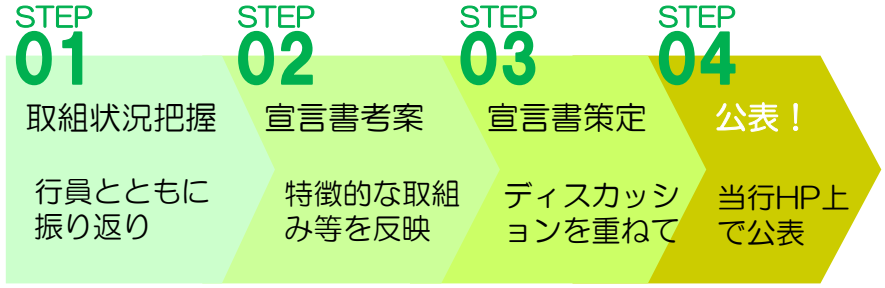
【主な取り組み】

- 地域自治体への寄付
- 地元スポーツクラブのスポンサー
- 地域ボランティアへの積極参加
- 職歴継承の推進

宣言による効果

- ✓ 企業イメージ向上
- ✓ 社員のエンゲージメント向上
- ✓ 経営方針・社会貢献活動の振り返り etc

半年間で**36件**のサポート実績



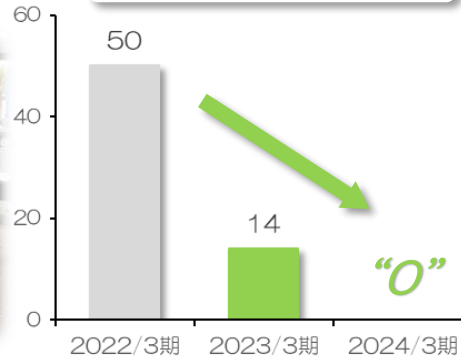
宣言書策定サポートを通じて浮き彫りになった経営課題等も継続的にフォロー

完全ペーパーレス化への取組み

デジタルサイネージ



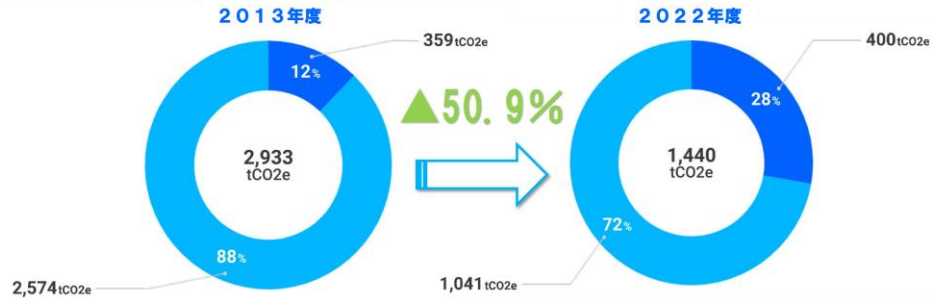
チラシ発注枚数の推移



- 全店にデジタルサイネージを導入
- 今年度のチラシ発注枚数を「ゼロ」へ！

温室効果ガス直接排出量の削減

“アスゼロ” CO2排出量見える化サービスによる計測結果



- 店舗網の見直しやATM台数の適正化等推進
- 政府目標の2013年度比▲46%を既に達成

3年ぶり！ S/Jリーグ山口大会開催！



来場者数2,000名超！ 応援を力にチームも完勝！

『株式会社ACT SAIKYO』設立！

～更なる高みを目指して！～



- 元ACTSAIKYO選手の西 友理が社長に就任！
- 新たに、およそ200社の地元企業さまがチームのオフィシャルスポンサーに！

日本代表に過去最多3選手が同時選出！



齋藤 夏 選手
(混合ダブルス)

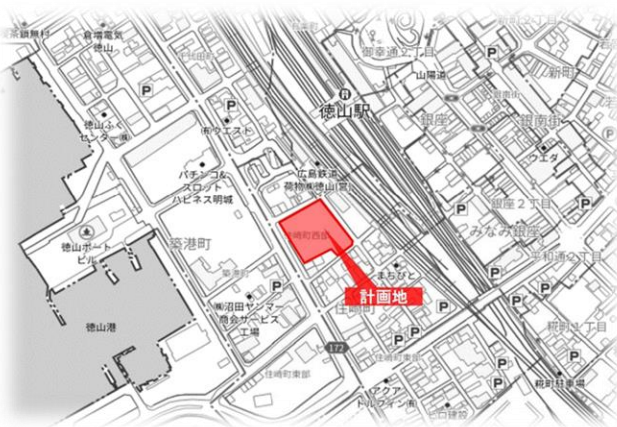


水津 優衣 選手
(ダブルス)



水津 愛美 選手
(シングルス)

地域に賑わいを～ 本社ビルの新築移転



西京銀行 新本社ビル TOKUYAMA TERRACE

2026年夏頃
竣工予定！

JR徳山駅南口にほぼ直結！
県内外からのアクセス良好！



JR徳山駅橋上駅舎から南東方向

本社の新築移転は60年ぶり。

約1,500坪の広大な敷地！
オフィス機能を拡充！

地域に賑わいを創出できる本社づくりを目指します。

コンセプト

1. 地域に開かれた銀行

- 地域との共存共栄という価値観を大切に。
- 地域の人々がアクセスしやすく、街の賑わいの中心に。

2. フラットでオープンな組織運営を支えるオフィス

- 分散した本部機能を集約。
- 生産性・効率性の向上、働き方改革を実現するオフィスに。

3. サステイナブル

- 環境性能の高い本社を建築。
- 地域のカーボンニュートラルをリードするシンボリックな建物に。

4. BCPの充実

- 耐震性能、発電機電源等業務継続耐性を充実。
- 社会機能の維持に必要な金融インフラ、サービスを安定的に提供。

計画の概要

愛称	TOKUYAMA TERRACE (徳山テラス)
敷地面積	約4,800㎡
規模	地上5階 (予定)
延床面積	約7,000㎡ (予定)
竣工時期	2026年夏頃 (予定)
設計監理	株式会社 三菱地所設計
施工	日本国土開発 株式会社